

災害時に備えて

7月17日の木曜日に、株式会社モンベルの方々が来てくださりました。「浮くつしょん」の使い方とテントの組み立て方、利用方法を4、5、6年生に向けて教えていただきました。「浮くつしょん」は、普段はクッションとして使用するものですが、中身を袋から取り出すとライフジャケットが入っていました。テントの組み立て方は意外と簡単で、関節のよいな部分を真つすぐにして、シートをつけると完成でした。私は、テントは屋外にしか取り付けられないものだと思っていたけど、屋内で使用可能なテントがあることを知れて勉強になりました。「浮くつしょん」もテントも、どちらも共通して災害時に使えることを知れたので良かったです。今後の地震の備えとして用意すると思います。

もしよかったら今後も来ていただいで、今の低学年たちに
年たちにもぜひ教えていた
だけたらいいなと思いまし
た。



(佐賀小学校 6年 伊尾木 咲葉)

サーフィン教室

7月23日(水)に、浮鞭で全校によるサーフィン教室を行いました。はじめに浜辺でゴミ拾いをしましたが、毎日そうじをしても新しいゴミが流れてくるとのことでした。ゴミの中にはプラスチックなども多く、環境を守ることの大切さをあらためて感じました。私たち6年生は、2年間体験したことで、最後には上手に波に乗れるようになりました。とても気持ちよくて楽しかったです。また、2年生は波にもまれ、海水浴を楽しんでいました。

最後にインストラクターの方にインタビューをして、黒潮町は人が少なくゆつたりと過ごせることや、海や砂浜がきれいで生き物も多いことなど、新しい魅力も発見できました。これから自分たちができることを考え、黒潮町の良さを守っていききたいと思います。



(田ノ口小学校 6年 深木 遥真・松本 貫汰・有友 日葵)

職場体験学習を通して

私は、黒潮町の魅力をどのように町民に発信しているのかを知りたくて、IWKに職場体験に行きました。

今回の体験を通して、1つの動画を作るために職場の方は多くの時間と労力を費やしていることを知りました。ディレクターや、AD、音声担当、レポーターなどたくさんの役割があり、それぞれを体験させてもらうことができました。撮影時は場所を決めたり騒音が入らないように何度も撮り直したりしなければなりませんでした。編集時は不要な部分をカットするのに時間がかかりました。また、テロップを入れたりその動画に合うBGMを考えたり、音を調整することにもかなりの時間がかかりました。このようなたくさんの苦労があつてひとつの動画が完成することが分かりました。

これから私たち3年生は「持続可能な黒潮町」について考えていく予定です。プロのようににはできませんが、今回学んだ手法を生かして情報を分かりやすく発信していきたいです。



(大方中学校 3年 松本 一花)